

令和4年6月12日
今週のベストショット



令和4年6月12日 青松園A

五回表、WPでホームに突っ込む奈多サンデーズ近藤 崇選手。

写真：ソルトベ이스ターズ 坂本 皓祐

奈多グラウンド 両チーム惜しくもドロー！！

三苦ホーネッツ（1勝1分）200200 5 平川、矢野▲ー広木

塩浜ジャガーズ（1勝1分）004001 5 立石▲ー猪野

HR：矢野（三苦ホ）、猪野（塩浜ジ） 2BH：堺、広木（三苦ホ）、内田（塩浜ジ）

一回表三苦ホーネッツの攻撃、一死二三塁のチャンスで西村選手のタイムリーヒットで2点先制する。その後は両チーム投手の好投で試合は動かず。三回裏ジャガーズは、三連続四球と内野のエラーで1点を奪い、尚も無死満塁のチャンス。ここで四番内田選手の鮮やかな右中間へのタイム一二塁打で3点を追加し、この回一挙4点を奪い逆転に成功する。四回表、反撃したいホーネッツは先頭の矢野選手がレフトへ特大のHRを放ち1点を返すと、2つの四球で二死一三塁のチャンスで四番広木選手が打席に。ここで期待に応える2点タイムリー二塁打を放ち逆転に成功する。四回裏からホーネッツ矢野投手が登板し、2イニングを見事に三者凡退で抑えると、ジャガーズ立石投手もきっちりと五、六回を0点に抑える。ホーネッツこのまま逃げ切るかと思われた最終六回裏のジャガーズ攻撃、何とジャガーズ猪野選手のソロHRが飛び出し土壇場で同点に。勢いはジャガーズに傾いたように見えたが追加点は入らず、5ー5の同点で試合終了。両チームともに悔しさが残る試合となった。

（記事・写真：和白新町パイレーツ 中島 孝志）



塩浜ジャガーズ先発の立石投手。



三苦ホーネッツ先発の平川投手。



走者一掃の二塁打を放つ内田選手。



相手の守備のエラーを誘う立石選手。



四回表、ソロHR放った矢野選手。



逆転の2点二塁打を放った広木選手。

青松園A 奈多サンデーズ塚本投手、無四球完投勝利！

奈多サンデーズ（2勝1分）0 3 2 0 1 6 塚本○ー野々下

三苦三球会 （1勝1敗）3 0 0 0 0 3 鮎川●、堺一

HR：船橋（三球会） 2BH：古賀（奈多サ） 大津（三球会）

初回、三球会先発の鮎川投手と対峙する奈多サンデーズは、初回からチャンスを作る。二番土田選手の四球に続いて三番江口選手のレフト前ヒットで一死二塁からパスボールで一死二三塁にするも、四、五番共に打ち上げチャンスをものにできず。一方の三球会は、一回裏、一番船橋選手の先頭打者本塁打で先制。その後三番大津選手のヒットや相手のエラーで一死二三塁となり、続く塚、望月選手のヒットで計3点。何とか追いつきたいサンデーズは二回裏、四球と近藤選手のヒットで二死一二塁のチャンスで一古賀（開）選手、二番土田選手の連続ヒットで、3点を返し同点。その裏、三球会も連続ヒットで二死二三塁のチャンスで初回到HRを打っている船橋選手を迎えるが、サンデーズ塚本投手にレフトフライに打ち取られ追加点を奪えない。三回表サンデーズは、五番八島選手が四球で出塁し、近藤選手のセンター前ヒットに相手守備のもつれで1点。さらにWPで1点追加し逆転に成功！！その後も五回表に1点を追加した奈多サンデーズが6-3で見事逆転勝利を収めた。久しぶりの投球なのか、なかなか制球が定まらない鮎川投手に比べ、奈多サンデーズのベテラン塚本投手は無四球完投！ベテランが試合を作る展開となった！（記事：ソルトベイスターズ 中村 健一、写真：坂本 皓祐）



両軍監督挨拶。



奈多サンデーズ先発の塚本投手。



打球の行方はなんと初回先頭打者HRの船越選手。



先頭打者本塁打の船越選手。



三苦三球会先発の鮎川投手。



五回表、サンデーズ近藤選手がホームイン。



左から、安定感抜群の塚本投手、本日3エラーの古賀選手（本人談）、チーム最多2安打の近藤選手！！

青松園B フェニックス圧巻の攻勢で逆転勝利

三苦フレンズ（1勝1敗1分） 2 0 1 0 1 4 生野（拓）●ー佐藤（由）

奈多フェニックス（2勝） 0 0 3 1 1 × 1 4 今林（勇）○ー実延（新）

HR：望月、西藤（奈多フ） 3BH：今林（英）、能丸（奈多フ）

2BH：能丸、西藤（奈多フ） 佐藤（博）、松田（三苦フ） 盗塁：吉村、生野（拓）（三苦フ）

前日降った雨で若干足元が緩く、風も打者からすると逆風が吹く中で始まった試合は、三苦フレンズは一回表、先頭の吉村選手がバントヒットで出塁し、三番佐藤（由）選手は四球を選びチャンスを拡大した所で吉村選手が足を活かしたホームスチールを成功させ先制点を奪う。すると五番佐藤（博）選手が右線に二塁打で追加点を奪い幸先良くスタートを切る。一方の奈多フェニックスはその裏、二死ながら満塁のチャンスを作るも無得点。三回表フレンズは先頭の生野（拓）選手が安打で出塁し盗塁も決めてチャ

ンスを作ると、三番佐藤(由)選手が右前にタイムリーと続き3点目。このままの流れで行くのかと思われたが三回裏フェニックスは一死後の能丸選手から実延(新)選手まで怒濤の四連打で一気に3点を奪い同点に追い付いた。四回裏フェニックスは九番山本選手が四球で出塁すると、続く一番望月選手は逆風をものともせず左翼フェンス越えの本塁打で勝ち越し。二番今林(勇)選手も四球で出塁すると四番西藤選手がまたも左翼フェンス越えの本塁打で追加点。これで勢いづくフェニックスは打者16人を送る猛攻で11点を奪い攻撃終了。五回表この回2点以上取らなければコールド負けになってしまうフレンズが一番吉村選手が安打で出塁し、佐藤(由)選手が四球で繋ぎ四番松田選手が左線に意地の二塁打を放ち1点を奪取。さらに続きたかったが後続が倒れて試合終了。勝ったフェニックスは三回に追い付いた事で流れが生まれて一気の大逆転に繋がったのと、三塁手の西藤選手が要所でファインプレーを2つ披露したようにチーム全体が良く守り抜いた事が流れを引き寄せた要因だろう。一方敗れたフレンズは生野(拓)投手が相手の勢いに吞まれるように制球を乱して甘くなった球をことごとく痛打されてしまった事と試合前半に得点を奪った後に更にもう1点でも2点でも取れていたら違った展開も有り得たので打撃陣の奮起に期待したい。(記事:新町ウインズ:野中 一史、写真:大久保 浩)



試合前に作戦を練るフレンズナイン。



練習を終え一息つくフェニックスナイン。



奈多フェニックス先発の今林(勇)投手。



三苦フレンズ先発の生野(拓)投手。



絶妙なセーフティ！！一回表先頭打者吉村選手。



あたたっ！！腰やった？



レフトへ弾き返す三苦フレンズ寺山選手。



レフト柵越えの特大HR フェニックス望月選手。



勝ち越しランナーを進める奈多フェニックス実延選手。